

組織目標評価報告書（平成21年度）

部局名： 保健管理センター

	組織目標	達成状況(成果)
教 育	学生の心身の健康の維持・増進に寄与する講義として、平成21年度はメンタルヘルス関連教養講義は前期・後期各一コマ、フィジカルヘルス関連は後期に一コマ開講する。専門講義としては薬学で後期一コマを開講する。さらに、各部局からの単発の講義依頼にも前向きに検討する。	学生の心身の健康の維持・増進における健康教育の重要性に鑑み、講義は前・後期に開講した。また、清水・大西編集による「キャンパスライフとメンタルヘルス」の教科書(2010年1月1日初版、全94頁)を作成し、今後はこの教科書を教材として、より効果的なメンタルヘルスの講義を行う予定である。さらにフィジカル系では一般教養として「健康・スポーツ科学」、薬学の専門講義として「診断治療学」を従来から後期に開講しているが、年度ごとに、特に健康と病気の視点を取り入れた最新の講義内容になるように改善した。これ以外に、教育活動としては薬学部の内分化学、医学部医学科の内分化学総論、薬学部大学院の講義(各教員オムニバス形式)などを行った。
		達成度 4 ③ 2 1
研 究	学生・職員の健康の維持・増進に寄与するために、下記の研究を行う。 1 健康管理システムに関する研究 2 肥満に関する研究 3 煙草対策・禁煙に関する研究 4 メンタルヘルスに関する研究	1 については、当大学の健診システムの研究成果「ウェブによる学生への健診結果通知の評価」を発表(Campus Health 46(1), 2009)した。また、第47回全国大学保健管理研究会(全国集会)シンポジウムにおいて当大学の学生の事故予防対策システムを紹介した「実験・実習の安全管理」を発表した。 2 については、当大学職員健診において、肥満を視点に解析した研究成果を、「メタボ健診の現場から」(第37回日本行動計量学会、H21. 8. 5)および「当大学職員健診におけるメタボの実情」(第39回中国・四国保健管理研究会(中四集会)、H21. 8. 27~28)という演題でそれぞれ発表した。 3 については、中四集会において「岡山大学男子学生の喫煙率」、全国集会で「喫煙志向度による健診時禁煙指導の有用性と19年間の喫煙率(男子)推移」を発表し、当大学における禁煙・受動喫煙防止対策に関する現状と方向性について報告した。 4 については、全国集会で「医療系学部における休学者支援の工夫」「孤独感を持つ学生へのサポートの手がかり」、中四集会において「メンタルケアの多方向性」を発表し、全国の保健管理センターで問題になっている喫煙の要事に関する研究を報告し、当大学での取り組みを示した。 その他として「新入生に対する麻疹集団感染予防に関する調査結果」を全国集会で発表した。
		達成度: ④ 3 2 1
セ ン タ ー 業 務	学生・職員の健康の維持・増進のために、下記の業務を行う。 1 学生・職員の健康診断 2 健康診断事後措置 3 日々の健康相談・診療・指導 4 健康・安全啓発活動 他 (1)メンタルヘルス クライシス マネジメント研修会を年に2回開催する。 (2)メンタル・フィジカルヘルスに関する講演会をそれぞれ年に1回開催する。 (3)メンタル&フィジカルヘルス ネットワークの維持・充実を図る。	1. ~3. についてはほぼ例年通り実施したが、H21年度の特筆すべき事項として以下の3点が上げられる。①業務の一層の充実・効率化に向けて健診データ自動取り込みシステムを導入し、活用できる体制の整備を行った。②ウェブによる学生への健診結果通知方法を研究・評価し、さらに充実させたこと。③H21年度予算内でセンター内の壁面に大型の掲示板を購入し、健診や外来でセンターを訪れた学生・職員への啓発活動につながるよう工夫したこと。これはH22年度に掲示内容を吟味し、完成させる予定。 4(1)は1回目を9月3日、2回目は2月23日に実施した。 4(2)は9月24日に「岡山大学生の『ひきこもり』の現状について。ひきこもる青年へのかかわり」および12月8日に「岡大職員メタボ健診の実情」を行い、職員へのメンタル、フィジカル両面の啓発活動を行った。 4(3)については、H21年度第1回保健管理センター運営委員会(H21. 7. 21)において「メンタル及びフィジカルヘルスネットワーク」から「学生保健ネットワーク」へ名称変更し、よりわかりやすく有機的な双方向性ネットワークへと改善していった。
		達成度: 4 ③ 2 1
社 会 貢 献	岡山市保健所及び岡山県保健福祉部と連携し、エイズ出前講師を担当して高校・大学生を対象に感染予防・人権啓発を行うとともに、市民向けの生活習慣病予防の依頼講演も積極的に行う。	岡山市保健所主催の「エイズ出前講座」の講師として、小倉・戸部で数回の講演を行った。 12月4日に岡山県教育委員会主催の養護教諭に対する『感染症の現状と学校における対策』という講習会を実施し、養護教諭の専門知識向上に貢献した。また、清水・大西は「岡山いのちの電話」のスーパーバイザーとして、地域社会における自殺防止活動の一端を担った。
		達成度: 4 ③ 2 1
【自己評価総括記述欄】※目標及び指標の達成状況について総括し、次年度に向けた改善点等を記載してください。 ・教育に関しては、一般的な講義は他の業務との関係から現行以上に行うのは困難と考えられる。ただ当センターでの教育とは、健診時や診療時での健康教育・指導が本来あるべき姿と考えられ、これについては日常業務の中での医師、保健師、栄養士による指導(教育)体制を充実させていきたい。 ・研究に関しては、今年度目標に応じた研究成果と考えるが、今後は、長期的な視点に立った保健管理センターに特徴的な研究の方向性を考えていく必要がある。 ・センター業務はほぼ目標に達した成果と考えるが、新しいシステム導入を、実質的な健診業務の充実という成果へと結びつけることが課題と考えられる。啓発活動は、大学内の現状を鑑み、メンタル系を中心に考えていきたい。 ・本務に支障が無い範囲で可能な限り、出前講座及び講演等は継続していきたい。		

【達成度】4:非常に優れている 3:良好である 2:概ね良好であるが改善の余地あり 1:不十分であり改善を要する

注)本様式は一般的な学部・研究科用であり、部局の特性に合わせて設定した領域・指標により修正してください。

[組織目標一覧へ](#)